

県議会は本当に予算内容を厳格に審査してきたのか？

「県政界のドン」を生みだす構造も不変

県議会議員 川本 幸立

2月議会で08年度の予算書(案)を受け取り驚きました。とても、個々の事業の内容や地方自治法に定める「最小のコストで最大の効果を得る予算が組まれているかどうかを判断できない内容だったからです。」

たとえば計画道路の場所、範囲、構造などを読み取ることが不可能です。県職員にそのことを話すと「当然」だという反応が返ってきました。それならばとヒアリングの一方で予算編成段階の詳細データの開示を求めましたが、未だに出てきません。有権者の皆さんは、会派を問わず各議員に本当に予算内容を厳格に審査して

きたのかを問うてみては如何でしょうか。

一方、千葉市の税金不正免除事件の一番判決(04年11月、千葉地裁)で「市や県に損害を与えることを一顧だにしない極めて利欲的、独善的」と糾弾された緑区の元県議のような「県政界のドン」を生み出す構造も未だ改革されてはいません。

県民の要望が強い「人命・災害のかかわる施策」や財政状況は二の次に、口ききと根回しによる水面下の政策決定は相変わらずです。そして、根拠も疑わしい「地域振興」を口実にした大規模公共事業推進・道路作れの議場での「おねだり」陳情は毎議会繰り返されています。

こうした密室での決定や「わからない」予算書が、「利欲的、独善的」な政策決定を許し、元利あわせて3兆円をはるかに越える県財政の借金の要員の一つになってきました。税金の用途を厳しく監視するのが有権者から託された議会の使命です。「根回し無し」、「貸し借り無し」の公開の議場での政策決定のシステムを県議会に是非作り上げたいものです。

千葉県議会・市議会

合同議会報告会

2008年4月15日(火)
生涯学習センター・メディアエッジ

千葉県議会議員の大野ひろみさん(さくら・市民ネットワーク)と市民ネットワークちばの7名の議員で、合同議会報告会を開きました。48名の参加で、議員からの報告の後、熱心な質疑応答がなされました。

《県議会報告》

八ッ場ダムと県内の環境問題 大野ひろみ
県の道路予算と県都一時間構想 川本 幸立

《市議会報告》

あなたは納得できますか？千葉市の財政 長谷川ひろ美
市民参加条例について 湯浅美和子
高齢者福祉について 常賀かづ子
自転車問題あれこれ 福谷 章子
毒入りギョウザと千葉市の対応 山田 京子
特優賃で赤字20億円の債権放棄！ 小西由希子



大野ひろみさん



熱心に報告を聴く参加者

参加者の声

◇市と県と、そして国と、私たちは自動的に3重の借金を背負っている。借金の元凶は思慮不足のハコモノ行政！安心して生きられる社会の創造を最優先にするべきではないか(怒)。

◇県議会報告を聞いて、日頃あまり縁が無いと無関心だったが、もっと県政についても考えていかなければいけないと思った。

◇市民ネットだけでなく、各会派から総合的な報告を聞きたかった。

◇もっと詳しく聞きたかった。全議員そろわなくても、各地で開催して欲しい。

◇政治や行政用語は難しいが、議会内容を、市民に分かりやすく伝えようとする姿勢が感じられた。

どうやって実現する？市民参加



市民参加及び協働に関する条例が前議会で成立。これから毎年、市民参加や協働による施策と内容、推進するための施策等「実施計画」がつくられる。

参加の方法が、パブリックコメント・ワークショップ・推進会議だけでなく、聞いたというアリバイづくりではなく、本気で市民意見を聴いて施策に反映させるならば無駄ではない。市政に関する十分な情報を市民に公開し、各地でワークショップを開いて共に考え、パブリックコメントで寄せられた意見を受けて更に議会で討論して決定する等、市民意見を活かす具体策が求められる。

現在の財政状況を招いた際限のない大型開発は、誰が決めたのか。モノレールの延伸も、赤字路線の解消のため、必要もない路線に更に多額の税金をつぎ込むなど、市民感覚からすれば、いかにもばかげたこと。

生活が成り立つかどうか結婚や出産にも悩む若者、保育所の問題で職場復帰できない女性、野菜の値段で晩ご飯のメニューを変更し教育費の捻出にも苦労している親、体調不良でも病院に行くのを控えている高齢者…と、市民の生活実感の上に立った税金の使い方や制度づくりが、今、切実に求められている。

予算編成の段階で市民意見を十分取り入れ、これまで慣例のように分配されてきた補助金を、市民の目で再チェックさせるなど、千葉市政への市民参加を実現し推進する「実施計画」が必要だ。(市川)

インフォメーション

- ☆議会報告会の出前をします。お気軽に、事務所までお申し出ください。
 - ☆ホームページを、ぜひご覧ください。
- 検索→市民ネットワークちば



各区ネット事務所

- 花見川ネット 花見川区花園1-6-5 Tel&Fax 275-9585
- いなげネット 稲毛区黒砂台3-9-26 Tel&Fax 284-3639
- みはまネット 美浜区高洲3-11-3 並木ビル2F Tel&Fax 278-5005
- わかばネット 若葉区都賀の台4-5-15 Tel 284-2339 Fax 284-2362
- 中央ネット 中央区中央3-13-17 Tel&Fax 223-7880
- みどりネット 緑区おゆみ野3-40-8 河野ビル101号 Tel&Fax 293-8011

福嶋浩彦さんの 市民自治連続講座開催

3/28・4/24・5/22

市民ネットワークちばでは、3回連続で、前我孫子市長の福嶋浩彦さんを講師に迎え「参加と協働」・「議会改革」・「新しい公共」をテーマに市民自治講座を開きました。

市民参加の具体例など、千葉市でも実現して欲しいことが満載でした。



問われる「議会のあり方」

福嶋 浩彦

行政への市民の直接参加を徹底して進めると、「議会を軽視している」という批判が出されることがある。しかし現在、市民が直接参加しているのは(政策立案)×(執行)などほとんど市長の権限の部分だ。「議会の権限が侵される」と心配するのは筋違いだろう。

むしろ、議会自身への市民参加が必要だ。自治体は2元代表制であり、市長も議会も市民から直接選ばれる。従って市長も議会も、それぞれが直接市民から意見を聞き、直接市民に説明責任を果たさなければならない。

そして議会は、オープンで徹底した議論を通して、その自治体の方向性や具体的政策を決定する場であるはずだ。「個々の議員が執行部に要望し、それを受けた市長の提案に賛否を表明するだけの議会」か「自治体の方針や政策を議員同士が討論し、議会としての総意をまとめる議会」かが問われる。

市長提案が適切でないと考えれば、各議員は意見の言いっぱなしではなく、議員同士で議論し、議会の総意と責任で修正して決定することが重要だ。議員立法も進めて欲しい。

こうした取り組みをすれば、市長に対する議会の力は増す。議会が真に自治体改革をリードする存在になることを期待している。